つくば見学会を終えて

東京支部　赤坂光三

2023 年 11 月 20 日、豊友会東京支部のイベントとして、新装なった筑波研究所の見学会が行われた。筑波研究所勤務経験者を中心に、勤務の経験がないOB・OG も含め総勢 47 人が参加。「精一杯だったあの季節」が胸に去来し、明日への活力となった 1 日でした。

昔通勤したように自家用車で参加する人たちや、強い筑波おろしが吹く中、つくばエクスプレスの研究学園駅からつくば市の変貌ぶりを味わいながら 2.5Km の徒歩で参加する人たちが、それぞれが研究所玄関に定刻集合。

塚原筑波研究所長、石井東京支部長らの挨拶、新装筑波研究所の説明の後、カフェテリアでつくば組織長を囲んで昼食。建物とともに味もアップグレードされていたと感じたのは懐かしさのせいだろうか。

昼食後にラボツアーを展開、コンピューター制御された超最新鋭の億を超える機器が並び、もう昔のような力仕事では研究はできないことを知らされる。あまりにも数の多いモニターとコンピューターに制御された機器、考え尽くされたアイディアだけが勝負であることを物語っている。さらに、随所に存在する贅沢なコミュニケーション空間は、創薬はアイディア勝負でありつつも、多くの連携行為のなかで生まれるということなのだろう。

午後の短い中ではあるものの「エーザイの将来はそう捨てもんじゃない」と参加者全員納得し、明日への期待が膨らむ 3 時間だったといえる。最後に土屋理事長の謝辞で締めくくった。

貴重な機会をお世話いただいた、塚原所長、大橋室長、戒能幹部、および各組織長に改めて深謝致します。

以上